

県立境高等学校特別教室棟高架水槽更新工事

図面リスト		
図面番号	図面名称	縮 尺
M-01	表紙、図面リスト	—
M-02	機械設備工事特記仕様書（1）	—
M-03	機械設備工事特記仕様書（2）	—
M-04	配置図、付近見取図	1/1000
M-05	給水設備 改修後 屋上平面図	1/100
M-06	給水設備 改修後 高架水槽平面・立面詳細図	1/50
M-07	給水設備 改修後 高架水槽架台参考図（1）	1/30
M-08	給水設備 改修後 高架水槽架台参考図（2）	1/30
M-09	給水設備 撤去 屋上平面図	1/100
M-10	給水設備 撤去 高架水槽架台参考図	1/30
M-11	仮設計画図	1/1000



一般共通事項

21 鋼管類の防食処置

22 絶縁継手

24 伸縮管継手

25 塗装

26 ステンレス鋼管の接合方法

27 溶接配管の検査

28 埋設表示

29 支持金物・固定金具

30 総合試運転調整

31 アスベスト含有建材の処理

32 補修など

33 はつり

34 はつり工事における非破壊検査

35 室内空気中の化学物質の濃度測定

36 火災保険等

37 グリーン購入

38 鳥取県公共工事環境配慮指針

39 建築物省エネ法

40 耐震施工

地中埋設

● ペトロラタム系 ● プチルゴム系 ● 熱収縮チューブ及びシート

● 標準図（施工3） ● (1)絶縁フランジ ● (2)絶縁シート ● (3)絶縁スリーブ ● (4)絶縁ユニオン

※ 合成ゴム製（球形） ● ポリテトラフルオロエチレン製 ● ペローズ形（ステンレス製）

※ ペローズ形 ● スリーブ形

各種機材のうち、下記の部分は塗装しない。（さび止め塗装は除く。）

(ア)埋設されるもの（ただし、防食塗装部分を除く） (イ)垂鉛めっき以外のめっき仕上げ面

(ウ)垂鉛めっきされたもので、常時隠べいされる部分 (エ)垂鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類

(オ)樹脂コーティング等を施したもので、常時隠べいされる部分 (カ)カラー垂鉛鉄板面

(キ)アルミ、ステンレス、銅、溶融アルミニウム-垂鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面

(ク)特殊な意匠的表面仕上げ処理を施した面

(ケ)主・各階機械室内等及び電気室内の垂鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管

● 上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所（ ）

呼び径60mm以下の継手は、SAS322を満足するものとする。

● ガス配管 ● 冷温水配管 ● 冷却水配管

非破壊検査の適用（ ● 放射線透過検査 ● 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査 ）

抜 取 率（ ● 標準仕様書による ● % ）

● 地中埋設様を図示する箇所に設ける。

● 埋設表示用テープを埋設する。（ ● ガス管 ● 屋外給水管 ● ）

ポンプ、屋外設置機器及びビット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。

屋外及びビット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融垂鉛めっき仕上げとする。

下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。

● 温度 ● 湿度 ● 風量 ● 騒音 ● 水量 ● 浄化槽放流水質

● 風速 ● じんあい ③ 飲料水水质（④ 一般飲料水適否検査 ⑤ 残留塩素測定 ）

● その他水质等（ ● 雑用水 ● 空調用流体 ● ）

公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による。

処理を行うアスベスト含有建材の仕様等

建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲

※ 県有施設石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。

※ 官公署その他への手続きは、同仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。

● 施工調査（分析によるアスベスト含有建材の調査）を行う。

分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。

● アスベスト粉じん濃度測定を行う。

（測定時期： 測定場所： 測定点： ）

● 洗浄設備（洗眼、うがいの設備）及び更衣設備等を設ける。

● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。

対象箇所（ 2階廊下 ）

工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。

既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

探査方法 ※ 電磁誘導式 ● 放射線透過検査

実施する。

工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。

（保険の加入期限は、工事完成引渡しまで[概ね工期+21日]とする。）

グリーン購入は次のものとする。

● 空調用機器（ ） ● 衛生器具（ ）

● 断熱材（ ） ● 配管材（ ● 再生硬質ポリ塩化ビニル管 ）

● その他（ ）

対象工事

対象工事

設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。

(1) 機器の据付け及び取付け

設計用水平地震力は、機器の重量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）[kN]に、

地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

設計用標準水平震度	③ 特定の施設	● 一般の施設
設置場所	● 重要機器 ● 一般機器 ● 重要機器 ● 一般機器	
上 層 階	機 器 2.0 1.5 1.5 1.0	
屋上、塔屋	防護設置機器 2.0 2.0 2.0 1.5	
	水 槽 類 2.0 1.5 1.5 1.0	
中 間 階	機 器 1.5 1.0 1.0 0.6	
	防護設置機器 1.5 1.5 1.5 1.0	
	水 槽 類 1.5 1.0 1.0 0.6	
	機 器 1.0 0.6 0.6 0.4	
地階・1 階	防護設置機器 1.0 1.0 1.0 0.6	
	水 槽 類 1.5 1.0 1.0 0.6	

上層階の定義 2～6階建：最上階、7～9階建：上層2階、10～12階建：上層3階、13階建以上：上層4階

中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの

重要機器 ● 換気機器 ● 空調機器 ● 熱源機器 ● 防災機器 ● 監視制御設備 ● 危険物貯蔵装置

● 火を使用する設備 ● 避難経路上に設置する機器 ③ 水槽類（燃料小出槽を含む）

●（ ）

(2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

(3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（一財）日本建築センター）を参考にする。

1 空気調和設備

2 冷暖房設備

3 換気設備

15 吹出口・吸込口

16 チャンバー等

17 消音内貼り

18 瞬間流量計及び流量測定口

19 定風量・変風量ユニット

20 温度計

21 冷温水管の空気抜き

22 空調機用トラップ

23 銅板製煙道

24 オイルサービスタンク

25 地下オイルタンク

26 油面制御装置

27 フィルター等付属品

28 パッケージ空調機的能力表示

29 防振吊り及び支持金物

4 1 ダクト

2 排煙口

3 排煙口開放及び復帰方式

4 排煙風量測定

5 1 中央監視制御装置

2 電源装置

3 温度調節器等

4 計装工事の配線

	外気条件		室 内 （ 調整目標値 ）				
	一 般		（ ）				
	温 度	湿 度	温 度	湿 度	温 度	湿 度	
	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	
夏 季	℃	%	28.0	℃	%	℃	%
冬 季	℃	%	19.0	℃	%	℃	%

※ SGP（白） ● SGP-V A ● SGP-P A

※ SGP（白） ● SGP-H V A ● ステンレス鋼管（SUS304）

● 架構ポリエチレン管（ファンコイル機器接続部に限る） ● ポリブテン管（ファンコイル機器接続部に限る）

※ SGP（白） ● ステンレス鋼管（SUS304）

※ SGP（黒）

※ STPG370-Sch40（黒） ● ステンレス鋼管（SUS304）

一般配管 ※ SGP（黒） 地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管

※ 断熱材被覆鋼管

● ステンレス鋼管 ● SGP-V A ●

※ SGP（白） ● VP

※ 5K ● 10K

※ 流量調整弁 ● 定流量弁（ ● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形 ）を取付ける。

(ア) 防凍ダンパー ※ 遠隔復帰式 ● 電気式

(イ) ピストンダンパー ※ 遠隔復帰式 ●

※ 低圧ダクト ● 高圧1ダクト ● 高圧2ダクト

● 長方形ダクト ● コーナボルト工法（ ● 共板工法 ● スライドオンフランジ工法 ）

（長辺1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする。）

● アングルフランジ工法

● 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。

ボックス ※ 垂鉛鉄板製 ● グラスウール製

シーリングディフューザーの接続は、標準図（施工49）を参考とする。

接続するダクトの施工が困難な場合はフレキシブルダクトを使用してもよい。

線状吹出口には、（長さ+100）×300×300Hの接続チャンパーを設ける。

外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。

吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類に内貼する。

内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。

吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口（原則400×600）を取付ける。

形式はビーター管式（コック付）とする。 ● 着脱式 ● 固定式

下記の箇所、若しくは図示により取付ける。

● 冷凍機類の冷水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● 冷凍機類の冷却水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● ボイラー又は熱交換器の温水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● 冷温水ヘッダーの各送り管 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● ユニット形空調機と機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● メカニカル形 ● 風速センサー形

機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付L形温度計

空気漏りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。

※ 手動 ● 自動

自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工38（g））

機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。

トラップ形式はフロートボール式（床置型） ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製

材質及び厚さ ● SS400（※3.2mm ● 4.5mm ） ● SUS（※1.5mm ● 2.0mm）

煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付け座を付ける

煤じん量測定口（80φ×2） ※ 取付ける ● 取付けない

油面計はゲージ式（側圧計）とする。

据付け方法 ● 標準図（施工32）（二重殻タンク・タンク室無し） ● 標準図（施工33）（タンク室有り）

タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト

基礎杭 ※ 不要 ● 要（※別途工事 ● 本工事 ）

土留め工事 ● 要 ● 不要

タンクローリー用アース端子を設ける。

油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ●

● 機器表特記による。

● 空気調和機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。

インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。

標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。

※ 垂鉛鉄板製 ● 銅板製（厚1.6mm）

形状 ● バネル形 ● スリット形 ● ダンパー形

取付け ● 天井取付 ● 壁取付

電気式（遠隔操作 ※ 不要 ● 要 ）

建築設備定期検査業務基準書2016年版（（一財）日本建築設備・昇降機センター）の検査方法に準ずる。

6 衛生器具設備

7 給水設備

8 排水設備

9 給湯設備

10 消火設備

11 ガス設備

12 浄化槽設備

1 衛生器具の参考型番

2 小便器用節水装置

3 自動水栓

4 大便器洗浄弁

5 温水洗浄便座

6 器具と排水管接続

1 量水器

2 配管材料

3 弁類

4 水槽のマンホール

1 配管材料

2 弁類

1 配管材料

2 弁類

3 保温

4 屋内消火栓

5 ガス系消火剤の種類

6 ガス系消火の起動方式

1 都市ガス設備

2 配管材料

3 ガスメータ

4 バルク貯槽

5 容器周りの配管

6 容器転倒防止

7 ガス漏れ警報器

1 処理種別及び方式

2 型式

3 処理能力

4 放流水の水質

5 排水方式

6 埋戻し土

7 土留め工事

8 マンホールふた

9 消毒薬

型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。

※ 小便器一体型 ● 小便器分離型

● 洗浄水量4リットル/回以下

※ 個別感知方式（ ● AC電源 ● 自己発電 ● 乾電池 ） ● 手動式

電源供給方式 ● AC電源 ● 自己発電 ● 乾電池

操作方式 ● 電気開閉式（ ● センサー式 ● タッチスイッチ式 ）

● 手動式

洗浄用温水加温方式 ● 瞬間式 ● 貯湯式

※ 標準図（施工64） ● 標準図（施工65）

● 親メーター ※ 借用 ● 買収（※直読 ● 遠隔表示）

● 子メーター ※ 買収 ● 借用（※直読 ● 遠隔表示）

(ア)一般配管 ③ SGP-V B ● SGP-P B ● SUS304 ● SUS316

● H I V P ● 架構ポリエチレン管 ● SGP-V A（井水）

(イ)土間下配管 ● SGP-V D ● SGP-P D ● H I V P ● SUS304 ● SUS316

(ウ)地中配管 ● SGP-V D ● SGP-P D ● H I V P ● SUS304 ● SUS316

● 水道配水用ポリエチレン管（75～100A） ● 水道用ポリエチレン二層管（50A以下）

(エ)特記なき給水管の最小口径は20Aとする。

(オ)ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ● ゴム輪接合（直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。）

(カ)ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ※ 金属製継手 ● 融着継手 75A以上 ※ 融着継手

※ 口径65A以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。

③ 5K（受水槽以降の配管に使用） ④ 10K（公営水道に直結する配管に使用）

● 公営水道事業者指定の止水栓又は弁（給水引込部に使用）

屋外に設置する水槽のマンホール蓋は保温形（二重蓋含む）とする。

(ア)屋内汚水管 ● VP ● RF-V P ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管

(イ)屋内雑排水管 ● VP ● RF-V P ③ SGP（白） ● 排水用塩ビライニング鋼管

● 耐火二層管

(ウ)ポンプ排水管 ● VP（水道用） ● H I V P ● 排水用塩ビライニング鋼管（圧送排水鋼管用継手）

(エ)通気管 ● VP ● RF-V P ● SGP（白） ● 排水用塩ビライニング鋼管

(オ)屋外排水管 ● VP ● RF-V P ● V U（地中） ● R E P-V U（地中）

● R S-V U ● 卵形管 ● コンクリート管

3階以上にわたる排水管立て管に満水試験継手を ※ 取付ける ● 取付けない

※ 施工する ● 施工しない

※ 行わなくてもよい ● 図示の系統のみ行う

● SGP-H V A ● ステンレス鋼管 ● 架構ポリエチレン管

● 保温付被覆鋼管 ● 鋼管

湯沸器、給湯機周りの付属風配管等は製造業者標準品とする。

※ 5K ● 10K

(ア)一般配管 ● SGP（白） ● STPG

(イ)土間下配管 ● SGP-V S ● STPG-V S

(ウ)地中配管 ● SGP-V S ● STPG-V S

※ 10K ● 16K

(ア)呼水タンク ※ 施工しない ● 施工する

(イ)充水タンク ※ 施工しない ● 施工する

(ウ)配管の保温は次による。（屋外露出箇所は種別e3・（ハ）・Ⅶによる）

● 屋内消火栓用（※ 施工しない ● 施工する ） ● スプリンクラー用（※ 施工しない ● 施工する ）

● 連結送水用（※ 施工しない ● 施工する ） ● 連結散水用（※ 施工しない ● 施工する ）

● 広範囲型2号消火栓 ● 易操作性1号消火栓 ● 屋内消火栓（ ● 1号 ● 2号 ）

● 窒素 ● I G-541 ● I G-55 ● H F C-227 e a ● H F C-23

※ 手動 ● 自動手動切替式

都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。

(ア)一般配管 ※ SGP（白） ● 合成樹脂被覆鋼管

(イ)土間下配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管

(ウ)地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ● ガス用ポリエチレン管

● 親メーター ※ 借用 ● 買収（取付け ※ 別途 ● 本工事 ）

● 子メーター ※ 買収 ● 借用（取付け ※ 本工事 ● 別途 ）

● 縦型 ● 横型 ● 借用 ● 買収

● 標準図（施工73）の ● 要領（a） ● 要領（b） ● 要領（c）

● 標準図（施工74）の ● 要領（a） ● 要領（b）

● 不要 ● 要（※別途工事 ● 本工事 ）

● 小規模合併処理（ ● 分離接触ばっ気方式 ● 嫌気ろ床接触ばっ気方式 ● 脱窒ろ床接触ばっ気方式

● その他性能評価を受けた方式（ ）

● 合併処理（ ● 接触ばっ気方式 ● 長時間ばっ気方式 ● 回転板接触方式 ）

● ユニット型 ● 現場施工型

● 処理対象人員 人 ● 処理水量 m3/d

● 流入BOD 200mg/L ● 放流水質BOD 20mg/L以下

● T-N mg/L以下 ● T-P mg/L以下

※ 自然流下 ● ポンプ排水

● 砂 ● 根切土の中の良質土

● 不要 ● 要（図示による）

※ 製造者標準仕様（ロック式） ● MHA型（ボルト式）

3ヶ月相当分を納入する。

工 事 名

図 名

縮 尺

管理建築士

査 図

担 当

作 図

作 図

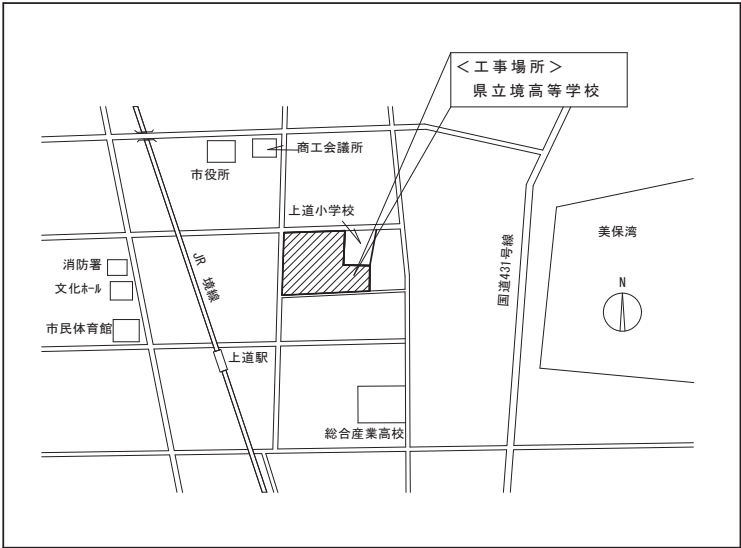
株式会社 ティビーエム（ティビーエム環境設備設計事務所）
鳥取県米子市目久美町3番地2
鳥取県知事登録 第03-888号 一級建築士事務所
管理建築士 一級建築士 第34020号（設備設計一級建築士 第4169号） 赤井 優

年 月 2024.09

図 番 M-03

頁 03

11 全

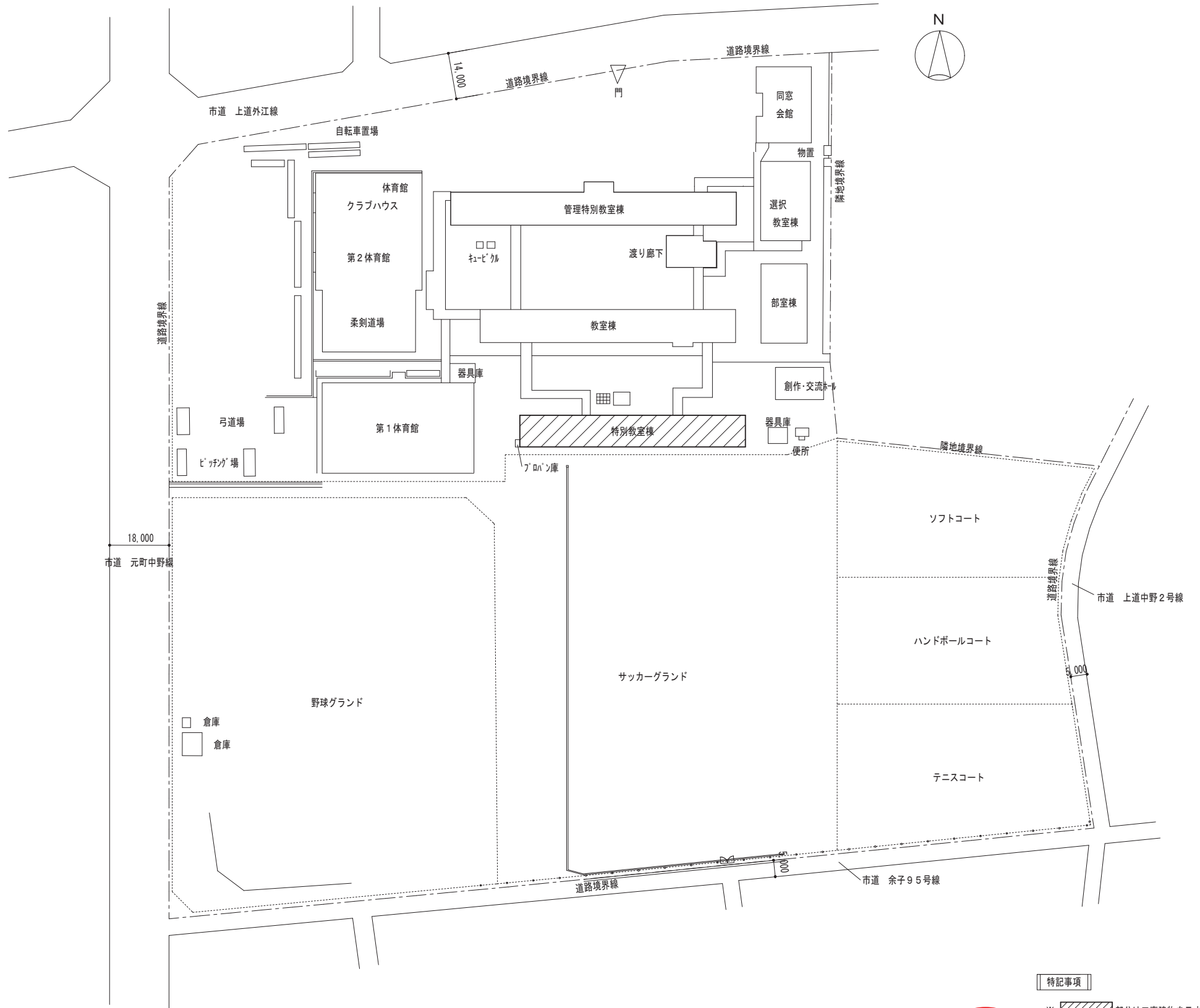


付近見取図

工事概要

特別教室棟

- ・屋上高架水槽（架台含む）の更新
- ・上記に伴う配管・配線工事



配置図 S = 1 / 1000

特記事項

※ 部分は工事建物を示す。

鳥取県

令和6年度

J2400161

西部環境建築局

工事名
県立境高等学校特別教室棟高架水槽更新工事

図名
配置図、付近見取図

縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図
1/1000	赤井	神原	今本	今本	



株式会社 ティビーエム (ティビーエム環境設備設計事務所)
鳥取県米子市目久美町34番地2
鳥取県知事登録 第03-888号 一級建築士事務所
管理建築士 一級建築士 第344020号 (設備設計一級建築士 第4169号) 赤井 優

年月 2024.09
図番 M-04

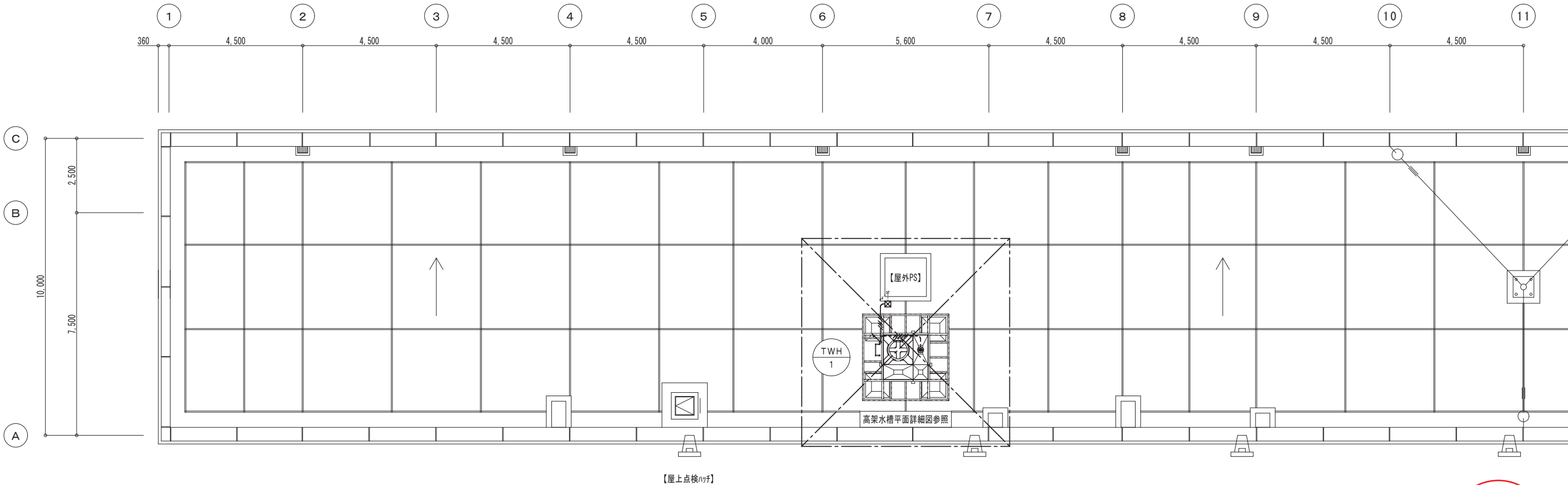
頁 04
11 全

改修後 衛生機器リスト

記 号	名 称	仕 様	数量	設置場所・備 考
TWH-1	高架水槽	形 式	FRP製パネル型サンドイッチ構造、外補強型	1 屋上
		寸 法	1,500×1,500×2,000H	国土交通省仕様
		容 量	呼称：4.5m ³ 有効：3.15m ³	コンクリート基礎(既設再使用)
		耐 震 強 度	KH=2.0G 耐雪：積雪60cm	
		付 属 品	梯子(内：PVC、外：垂鉛メッキドブ漬け)、マンホール600φ(密閉式、防護蓋鍵付)、	
			耐雪型通気口(防虫網付)、吐水口用防波筒、電極座(カバー、防波筒)、	
			点検歩廊付鋼製高架台2,000H(溶融亜鉛メッキ仕上げ)、	
			配管及び電気配管用支持架台付、他付属品共	
			組立用ボルト・ナットは全てSUS製とする。(搬入・組立共)	

改修後 凡例

記 号	名 称	摘 要
———	給水管	硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VB)
———・———	揚水管	硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VB)
———	排水管	配管用炭素鋼鋼管 (SGP-白)
-----//-----	制御線	EM-C EE 2.0mm ² -5C (G28)
●	電極	5P
☒	ブルボックス	SUS製防水、150□×100

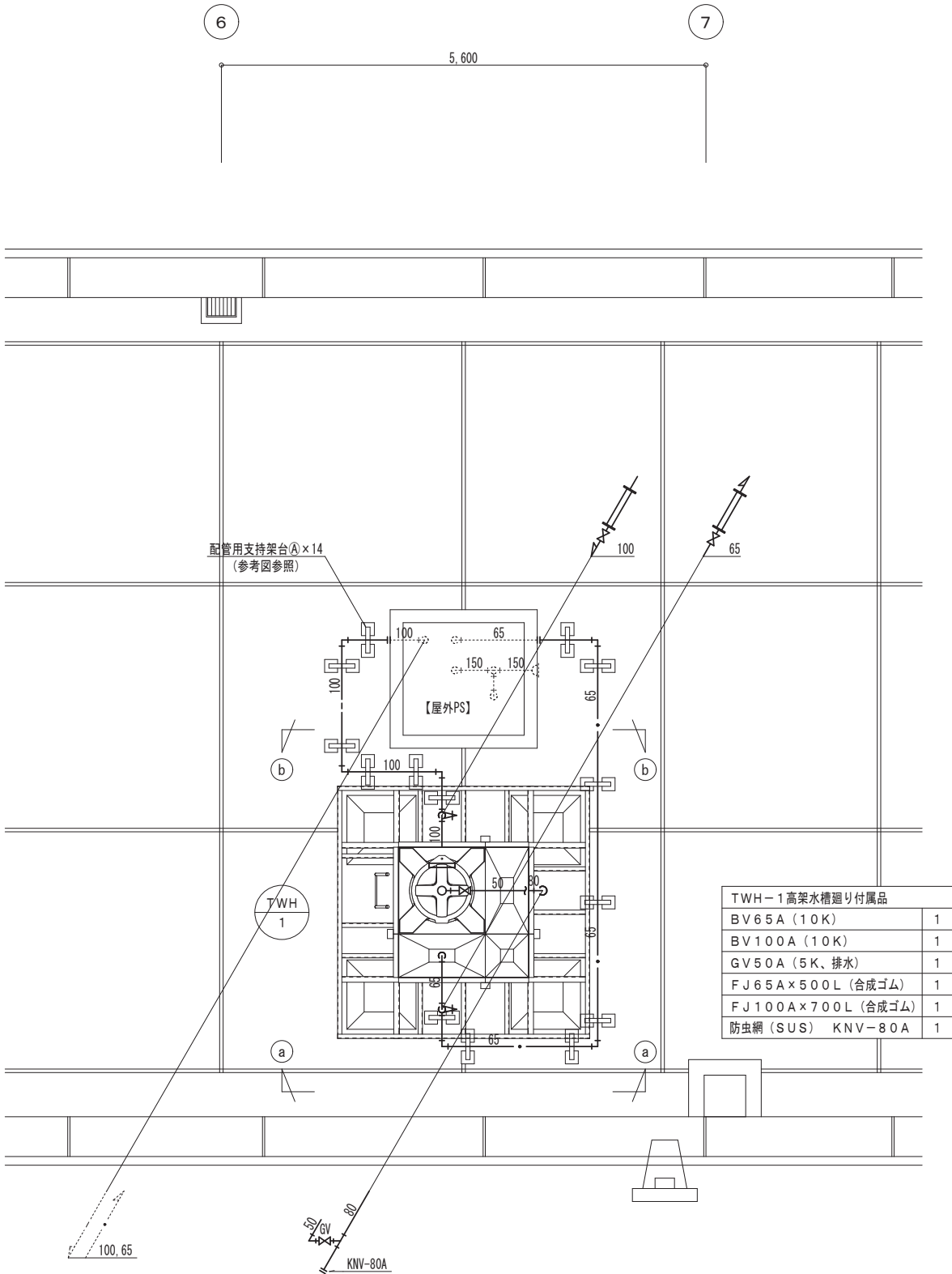


給排水設備 改修後 屋上平面図 S=1/100

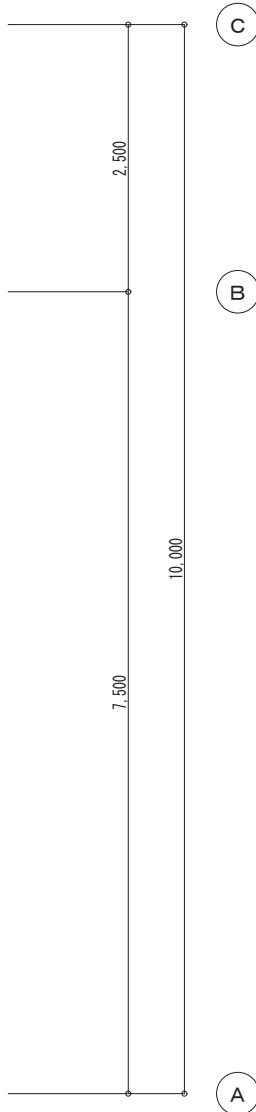
特記事項

- 部は新設機器・配線を示す。
- 部は既設配線を示す。
- 機器更新は夏休み期間中に1週間程度断水して行うこと。(仮設水槽は設置しない)
- 満減水等の警報の発報確認を槽内に水を張った状態で行うこと。
- 高架水槽設置後、槽内清掃及び飲料水水质検査(16項目)、残留塩素測定を行うこと。
- 作業範囲には十分な養生を適切に実施し、作業の際は粉塵等にご注意すること。





給水設備 改修後 高架水槽平面詳細図 S = 1 / 50



①-①立面詳細図 S = 1 / 50

②-②立面詳細図 S = 1 / 50

配管用支持架台参考図 S = Non

①	L-50 x 50 x 6t
②	プレート6t (100 x 100) x 2
③	樹脂ベース (120タイプ)
④	ゴムシート

配管用鋼製架台寸法			
番号	A	B	数量
①	300	700	14

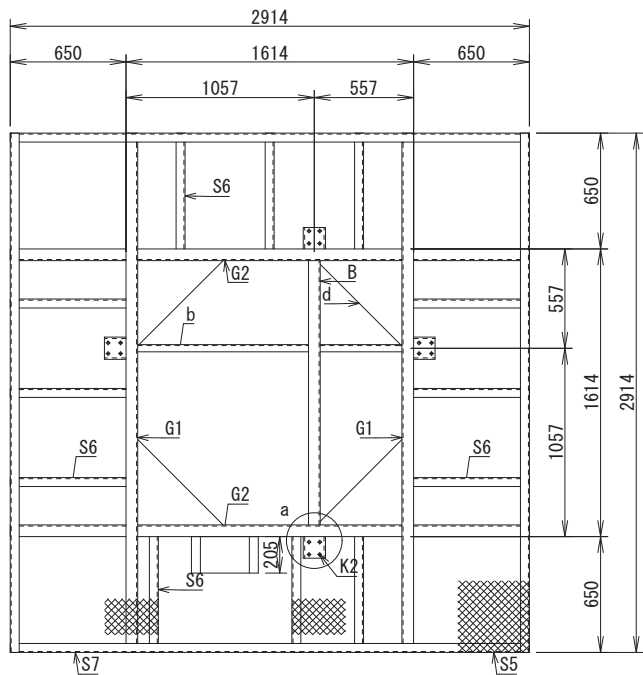
モルタル充填

特記事項

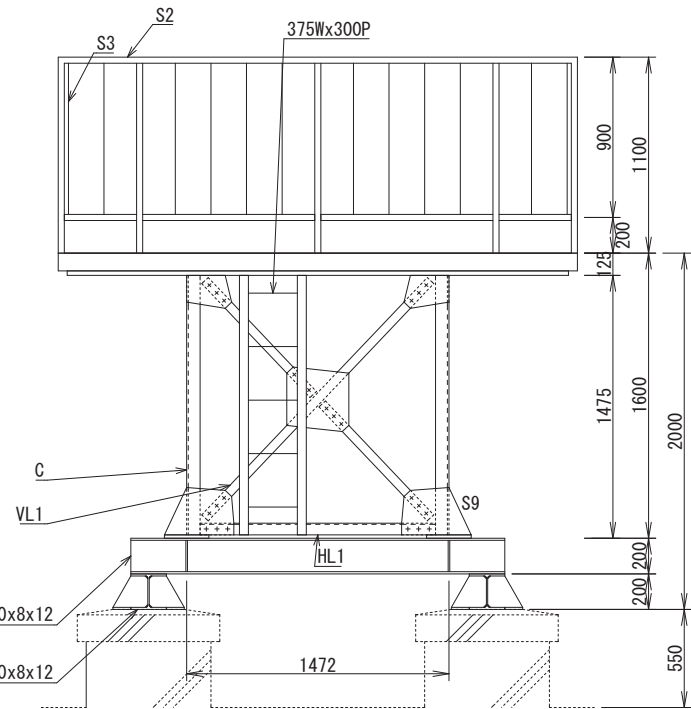
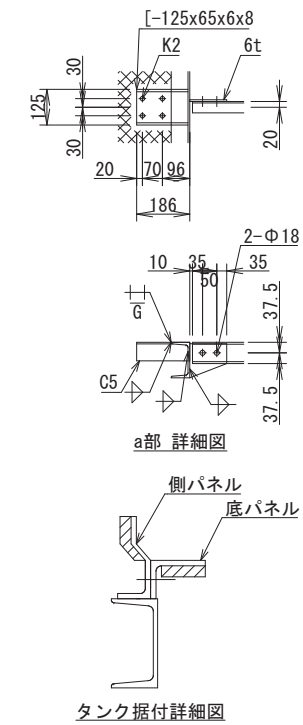
- 支持架台は溶融亜鉛メッキ仕上げ(溝潰け)とする。
- 支持架台寸法は参考寸法とし、現場調整できる鋼材を使用する。

- 特記事項
- 部は新設機器・配管を示す。
 - 部は既設配管を示す。
 - 部は既設配管接続箇所を示す。
 - 高架水槽・架台の新設はラフテレーンクレーンを設置して行うこと。
 - 高架水槽外周部はRFLから高さ2.5mまで工事に仮設足場を設置すること。
 - 作業範囲には十分な養生を適切に実施し、作業の際は粉塵等に注意すること。

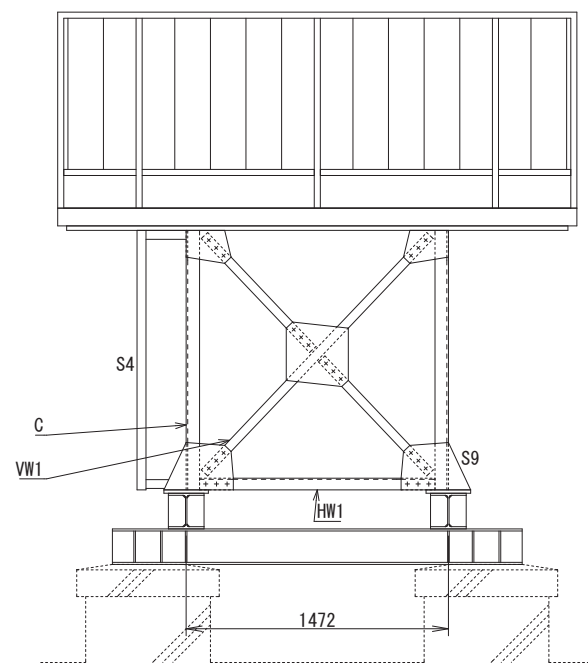
鳥取県
令和6年度
J2400161
西部環境建築局



高架水槽架台平面図（参考） S = 1 / 30

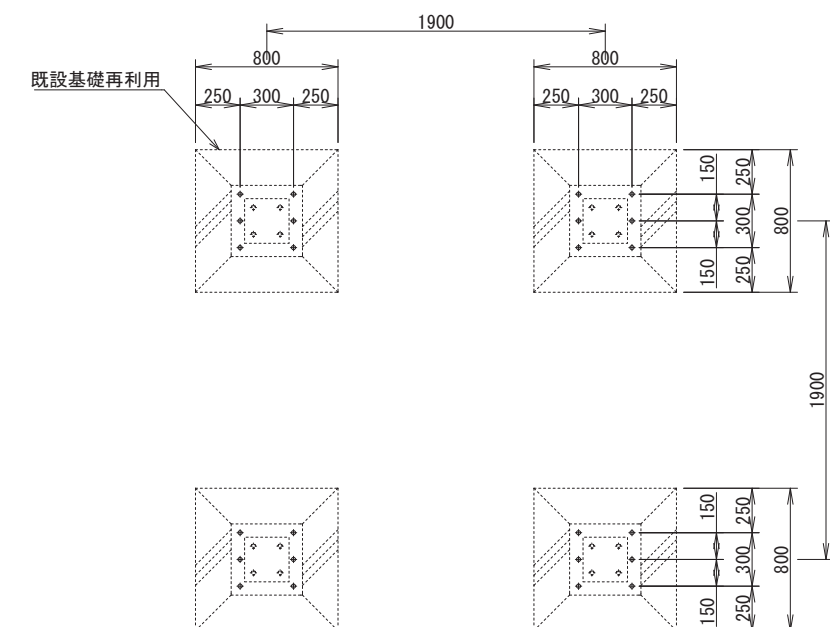
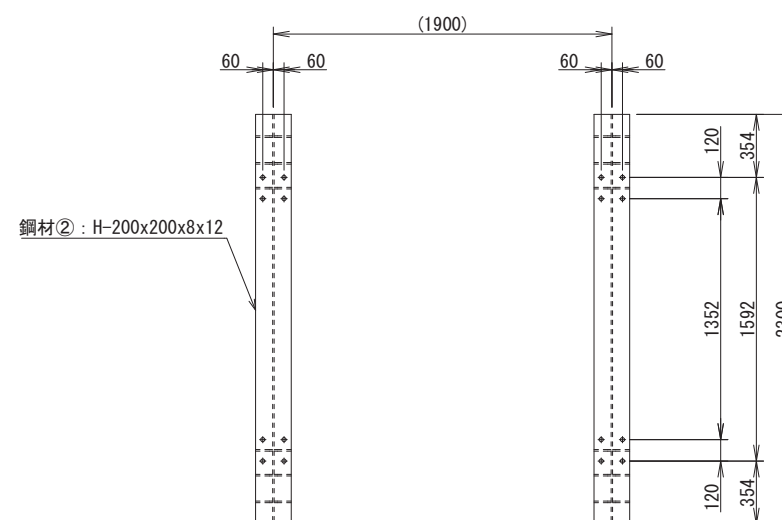
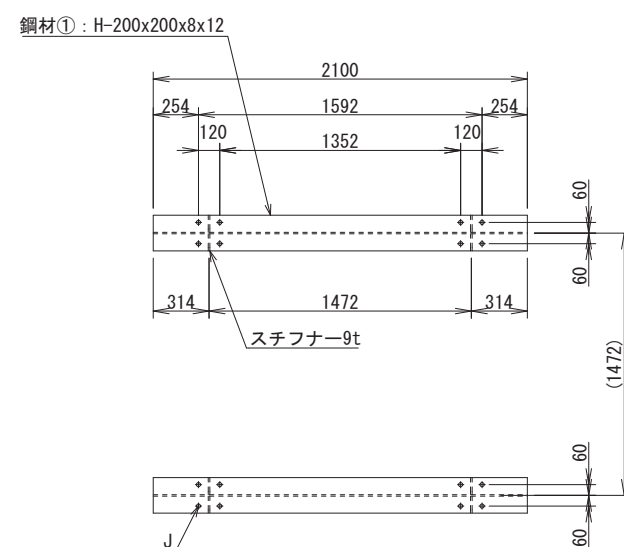
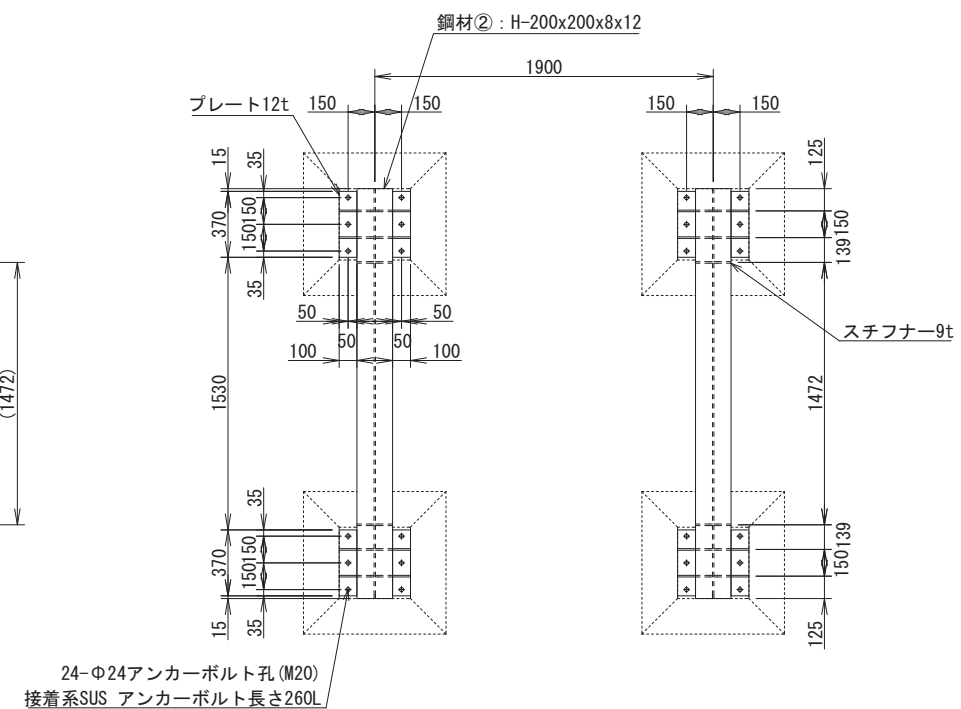
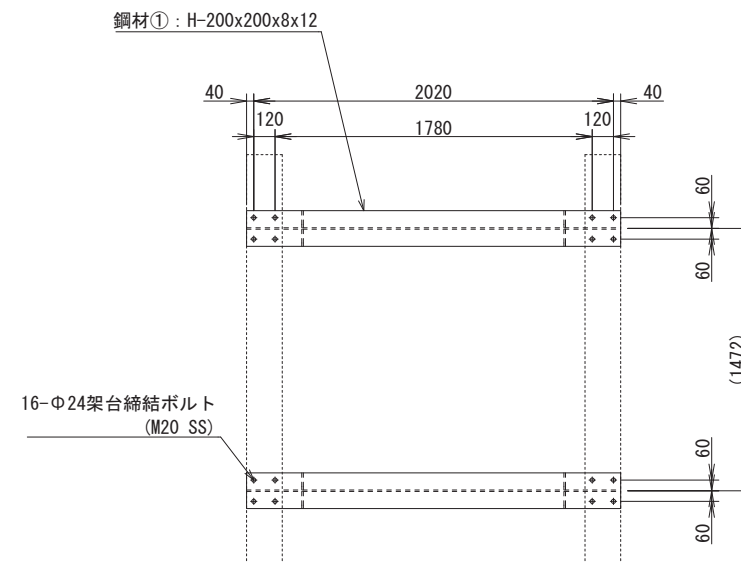
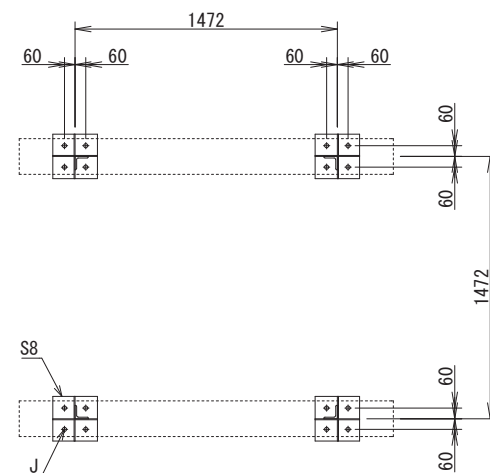


高架水槽架台断面図（参考） S = 1 / 30



架台凡例			
G1	[-125x65x6x8	p	-----
G2	[-125x65x6x8	S9	PLATE-6t
G3	-----	S8	BASE PLATE-19t
B	[-125x65x6x8	S7	[-100x50x5x7.5
b	[-75x40x5x7	S6	L-50x50x6
D	-----	S5	チェッカープレート3.2t
d	L-50x50x6	S4	L-50x50x6 φ16
C	L-75x75x9	S3	φ13-200P
HL1	L-65x65x6	S2	φ34.0x2.3t
HL2	-----	K2	16-φ16フレーム取付ボルト孔（・指示M12）
HW1	L-65x65x6	K1	-----
HW2	-----	K3	-----
VL1	L-50x50x6	J	16-φ24架台締結ボルト
VL2	-----		(+指示M20 SS)
VW1	L-50x50x6		
VW2	-----		

鳥取県
令和6年度
J2400161
西部環境建築局



() 内は鋼材芯寸法

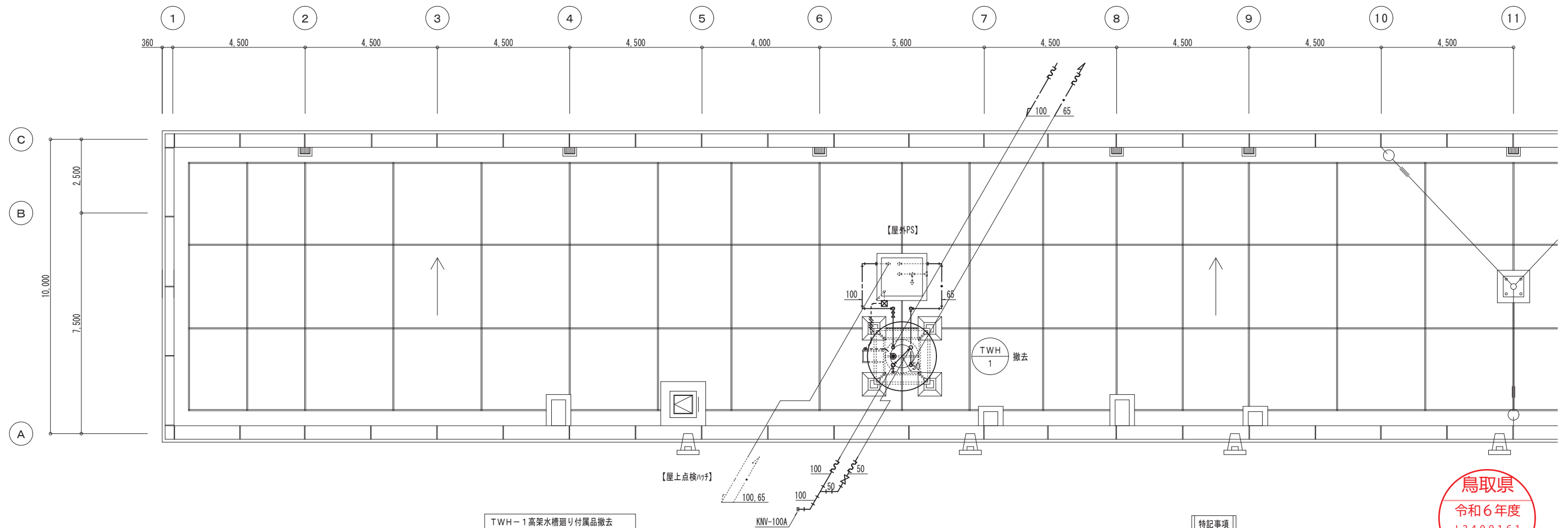
() 内は鋼材芯寸法

特記事項

1. アンカーボルトはあと施工アンカーとし、耐震計算書に基づいて仕様を決めること。
2. あと施工アンカー設置後は全数引張試験を行うこと。

記 号	名 称	仕 様		数量	設置場所・備 考
TWH-1	高架水槽	形 式	F R P 製球型 (保温型)	1	特別教室棟 屋上
		容 量	6 m ³		
		付 属 品	マンホール蓋、内・外梯子、電極取付座、通気口、鋼製架台2,000H、他標準付属品		
		機 器 寸 法	2,350φ×2,390H (320kg)		

記 号	名 称	摘 要
—— — — — —	給水管	硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VB）
—— — • ——	揚水管	硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VB）
—— — — — —	排水管	配管用炭素鋼鋼管（SGP-白）
----- -----	制御線	CVV2.0mm ² -5C（CP25）
●	電極	5P
☒	ブルボックス	SUS製防水、150□×100

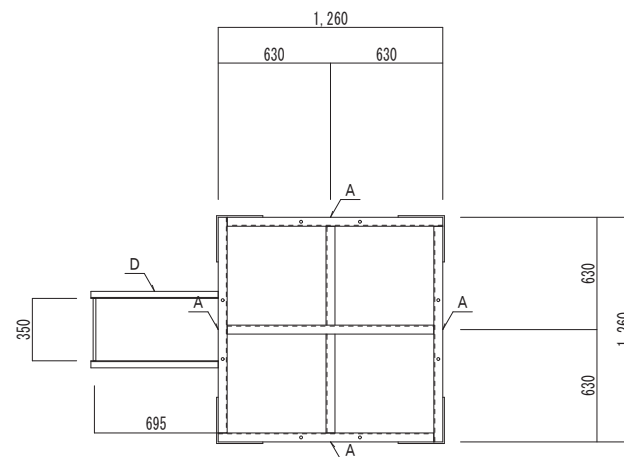


TWH-1 高架水槽廻り付属品撤去	
GV100A (給水)	1
GV50A (排水)	1
FJ 合成ゴム製 65A (給水)	1
FJ 合成ゴム製 100A (給水)	1
FJ 合成ゴム製 50A (排水)	1
FJ 合成ゴム製 100A (排水)	1
防虫網 KNV-100A	1

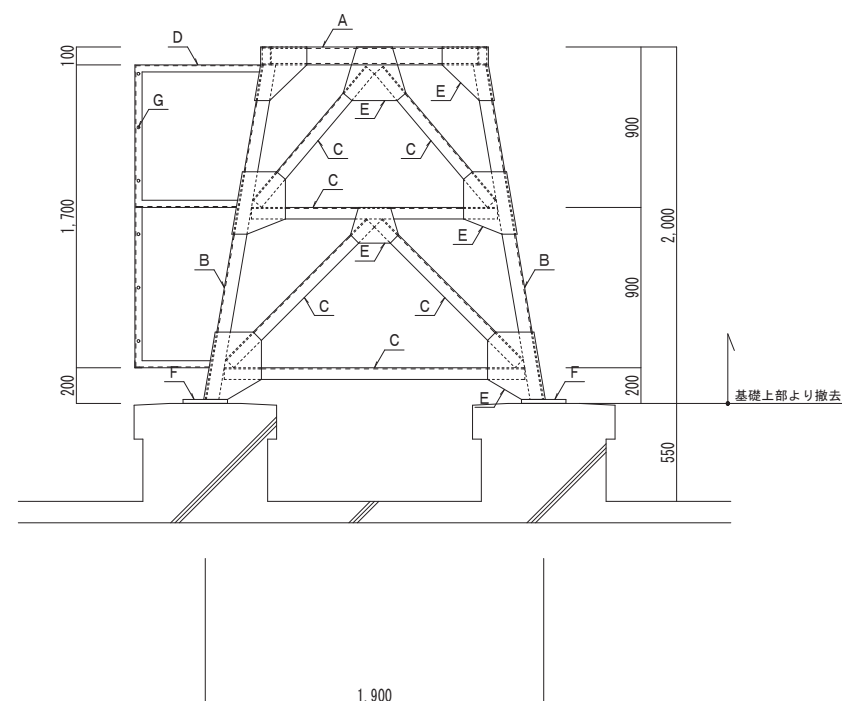
給水設備 撤去 屋上平面図 $S = 1 / 100$

1. _____ 部は撤去機器・配管を示す。
2. _____ 部は既設配管を示す。
3. _____ 部は既設配管切断箇所を示す。
4. 高架水槽・架台の撤去はラフレンスクレーンを設置して行うこと。
5. 給水管のランジバックにアスベスト含有の可能性があるため、1検体分析調査を行うこと。
6. アスベスト含有の場合は関係法令に基づいて適切に処分し、処分費については監督員と協議を行うこと。
7. 作業範囲には十分な養生を適切に実施し、作業の際は粉塵等に注意すること。

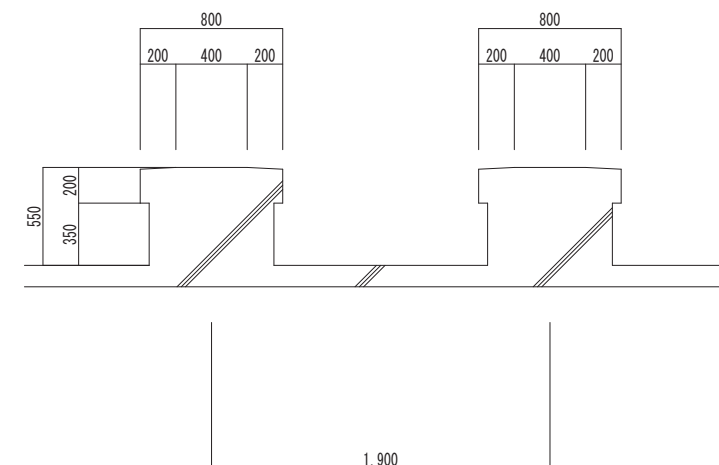
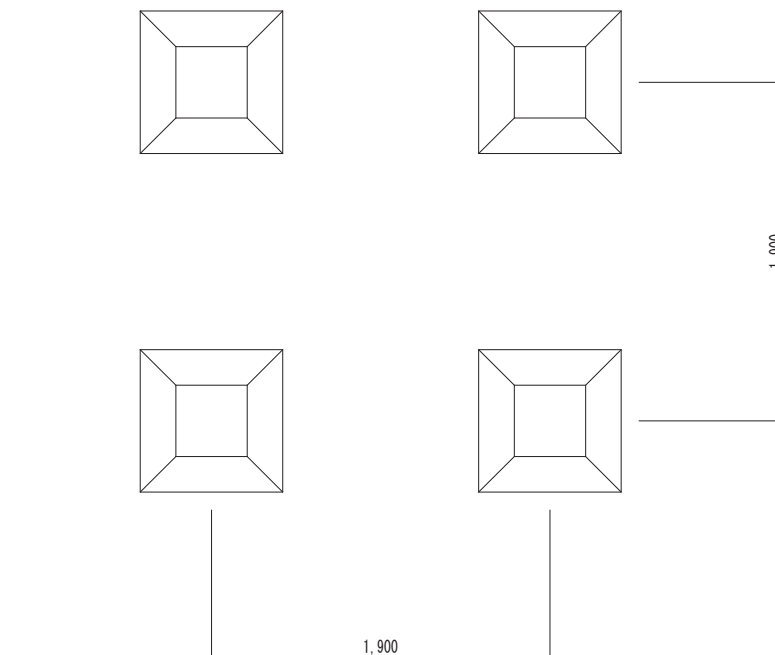
鳥取県
令和6年度
2400161
部環境建築局



高架水槽架台部材リスト	
A	[-100×50×5×7.5
B	L-75×75×6
C	L-65×65×6
D	L-40×40×5
E	P T-9 t
F	B P-250×250×22 t
G	タラップ材-Φ16×@300

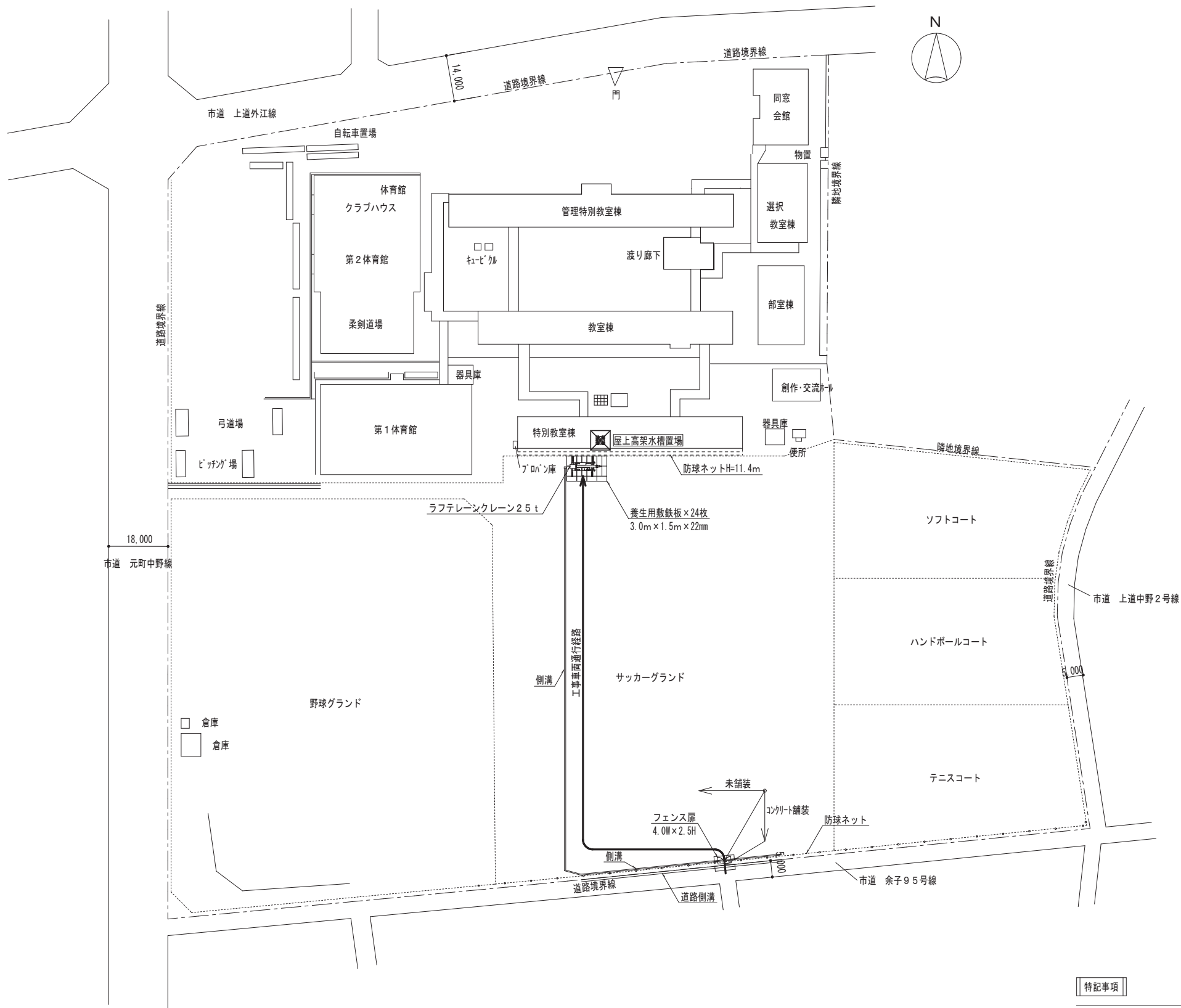


※ R C 基礎上部の鋼製架台を撤去する。



※RC基礎は再使用する。

鳥取県
令和6年度
J2400161
西部環境建築局



仮設計画図 S = 1 / 1000

- 特記事項
- 部は工事車両通行経路を示す。
 - 高架水槽（架台）の搬出・搬入用にラフテレーンクレーンを使用すること。
 - ラフター設置周辺及びラフター側溝上部通行箇所は鉄板敷きを行うこと。
 - 特別教室棟南面には防球ネットが設置してあるので、ラフター使用時には注意すること。
 - ラフター使用時は交通誘導員（想定3人）を配置し、通行人の安全を確保すること。

